

環境配慮工事データベース

作成(更新)年月日

平成21年4月21日

事業名	ため池等整備事業	地区名	大堰	市町村名	青森市		
工種	用水路						
配慮事項区分	多様な生息・生育空間の確保(湾処)			施工年度	H19		
農業地域類型	***			地形勾配	1/100 ~ 1/1000		
事業による影響	3面張り水路に整備するため、魚類等の生息環境が失われる恐れがある。						
配慮施設に対する 保全対象生物の 選定及び選定理由	サワガニ	現地調査で多く確認された地区の代表種であり、事業の影響を受けるも					
	フナ						
	ドジョウ						
保全対象生物の生活史等から見た配慮事項							
配慮施設の構造等 を検討する際に留意 した事項	なし。						
配慮施設の位置を 決定する際に留意 した事項	農業水利施設としての機能が発揮されながら、維持管理にあまり支障を与えない位置とした。						
環境配慮5原則区分	最小化						
配慮施設の構造		施設の設計条件等					
施設名称	湾処	用水期間	代掻き期	***			
箇所数 延長	湾処1箇所(H20年度現在)		普通期	***			
			非灌漑期	***			
主要構造	鉄筋コンクリート大型フリューム	配慮施設の非灌漑期の 水の有無、確保状況			有り		
		水深(cm)		流速(m/s)		流量(m ³ /s)	
		1.用水路		1.用水路		1.用水路	
		代掻き期	***	代掻き期	***	代掻き期	0.1
		普通期	***	普通期	***	普通期	0.069
		非灌漑期	***	非灌漑期	***	非灌漑期	***
		2.排水路		2.排水路		2.排水路	
1/2流量	***	1/2流量	***	1/2流量	1.328		
護岸	なし	1/10流量	***	1/10流量	***	1/10流量	2.655
		非灌漑期	***	非灌漑期	***	非灌漑期	***
		水路勾配	1/320		護岸勾配 土羽勾配	***	
施設底	コンクリート	施設諸元 B1800*H700					
二次製品 使用有無	水路本体:鉄筋コンクリート 湾処:かごマット						

環境配慮施設の設計条件等の決定根拠・参考文献						
施設の構造・規模の決定根拠等					参考文献(引用、出典)	
対象魚種の体長や遊泳能力等を参考にして、排水路内の水理諸元(流速・水深)を検討し、構造・規模を決定した。					「環境との調和に配慮した設計事例」	
モニタリング						
区分	調査有無	調査の種類	時期	回数	調査方法	施設の状況
施工前	無し	***	***	***	***	***
施工中	無し	***	***	***	***	***
施工後	無し	***	***	***	***	***
工事中 の一時的 避難	避難有無	***				
	無し	***				
モニタリング 結果概要	施工前	***				
	施工中	***				
	施工後	***				
モニタリング結果 からの評価		***				

営農を考慮した工法の検討		
営農上の課題、農家の意見・要望	左に対する工法等の工夫点	その他の課題
***	***	***
維持管理を考慮した工法の検討		
維持管理上の課題	左に対する工法等の工夫点	その他の課題
***	***	***
環境配慮施設の施工面での留意点、工夫点		
留意点	営農の支障とならないよう、工事施工は稲刈り後とした。	
工夫点	湾処箇所の水路は現場打ちのコンクリート及びかごマットを使用し、景観の配慮を図った。	
環境配慮施設の今後の維持管理方法		
留意点	通常時においては目視により流況を確認し、必要と判断された場合には最小限の管理を行うのが望ま	
環境配慮施設の工事費 (諸経費を含む)	湾処 1箇所 650千円	
実施設計担当者職氏名	東青地域県民局地域農林水産部 技師 三浦大和	
工事実施担当者職氏名	東青地域県民局地域農林水産部 技師 三浦大和	
施工後モニタリング担当者職氏名		
データベース作成(更新)者職氏名	東青地域県民局地域農林水産部 技師 今泰浩	

モニタリング結果資料



水路全景



湾处箇所拡大

その他特記事項



湾処① 既設側溝取付状況



湾処② 蓋版設置状況